

# 館報 教育記念館

No. 93  
令和元年11月 発行



きらめき未来塾【お笑い道場】



きらめき未来塾【思考道場】 秋山 仁先生 スペシャル授業



ものづくり展



さんすうワールド展

## 主な内容

◎教育時評 富山県小学校長会 会長 飯野 義明 .....	2
◎特別展 「絵日記でつづった学童集団疎開」 .....	3
◎第29回 郷土の先賢顕彰者 鳥山敬二郎 .....	4
山田 胖 .....	5
◎恒例展 「第10回児童・生徒によるものづくり」展 .....	6
◎恒例展 「第17回さんすうワールド」展 .....	6
◎「きらめき未来塾」 お笑い道場 右脳活用道場 思考道場 .....	7
◎元気な地域づくり、元気で創造性豊かな人材の育成及び支援事業 ・令和元年度「学ぼう！ふるさと未来」支援事業 .....	7
◎恒例展「第16回子どもの目、自然不思議発見写真展」 .....	8



発行所／公益財団法人 富山県ひとつくり財団 富山県教育記念館 〒930-0018 富山市千歳町 1-5-1  
TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001 E-mail: toyama@t-hito.or.jp http://www.t-hito.or.jp  
(教育記念館会議室ご利用の場合 ☎(076) 433-2770)

発行人／富山県教育記念館 館長 富田 利通 印刷所／いおざき印刷株式会社



## 1/f ゆらぎ

富山県小学校長会

会長 飯野 義明

新学期がスタートし、学校に子供たちが戻ってきたことを一番感じるのは、やはり音である。子供たちや先生の声、廊下を歩く音、机や椅子を動かす音、校内放送など、一気に賑やかになる。

一日の中でも、授業時間、休み時間、清掃時間、給食時間など、その時々によって聞こえてくる学校の音には、それぞれの特徴があり、子供たちの生活リズムを感じることができる。

私事になるが、教育実習中、学級で一日を過ごす中で最も戸惑ったのは給食時間である。学生時代、昼食の時間は自由気ままに過ごすことができ、また混雑している学食でさえ意外と静かで、快適な空間であった。ところが、小学校の給食時間とはいうと、騒がしいとまではいかないが、それでもかなり賑やかしい。計測した訳ではないが、70dB（幹線道路周辺）～80dB（電車の車内）位はあるかもしれない。会話や食器の音、校内放送などが入り交じる中で食べなければならない。ゆっくりと味わうこともできず、学生気分の抜けない自分にとって、給食時間の音はかなりの強敵であった。

ところが、2週間くらい経つうちに、次第に気にならなくなってきた。それどころか、適度な賑やかさが逆に心地よく、また、午前中の授業を終えた安堵感とおいしい給食の満腹感も手伝って、眠気すら感じるようになった。あれほど苦痛だった給食時間が、いつの間にか不思議なほどリラックスできる時間になっていた。

その時は、単なる慣れだと思っていた。しかし、何年か後に、ある電器メーカーから「ゆらぎ扇風機」なる物が発売され、「1/f ゆらぎ」がちょっとしたブームになった時、もしかすると学校の音も、これにあたるのではないかと考えた。

- 「1/f ゆらぎ」について改めて調べてみると、
- ・不規則で予測不可能な振動と規則性のある予測可能な振動とが混ざった微妙な振動。
  - ・ろうそくの炎やそよ風、木漏れ日、波のさざなみ、小川のせせらぎ、そして夜空の星のまたたき、かげろう、鳥のさえずり、蛍の光など、自然界のあらゆる現象に見ることができる。

などと、分かりやすく説明されている。

その中でも、「ラジオの『ザー』というノイズ音と、メトロノームの規則正しい音とのちょうど中間にあたり、不規則さと規則正しさがちょうどよい具合に調和している状態」という説明が、学校の音を最も分かりやすく表現しているのではないだろうか。

学校で聞こえる子供たちの声は、その時の感情や気分、声の速さや強弱・高低、話している人数などによって、絶えずゆらいでいる。その「ゆらぎ」を一番感じることができるのが、開放感に満ちた給食時間の自然な会話からである。

そして、1/f ゆらぎ音を聴くと脳内がα波の状態になり、リラクゼーション効果をもたらすという説明もある。

「1/f ゆらぎ」を学校の音に当てはめてみると、賑やかな給食時間を心地よく感じた理由も、自分なりに納得できた。

これまで、一教員として関わってきた多くの子供たちとの日々を思い出すと、「人づくり」も給食時間の音と同じく、「1/f ゆらぎ」の営みだったように感じる。

身近なところでは、集団生活を送るためのルールやマナー（規則正しさ）を学級全体で守りながらも、一人一人の資質や能力、見方や考え方、可能性など（不規則さ）を大切に、伸長していく。

また、大きな桁では、豊かな未来を創り出すという共通の目標（規則正しさ）に向かって、個々が自分の個性や長所、人柄（不規則さ）を活かしながら取り組んでいく。

かなり強引かもしれないが、「不規則さと規則正しさ」は、「自立と共生」、「我と我々」と置き換えることもできるように思う。

学校や社会のように、不規則さと規則正しさが調和している環境の中でこそ人は育つ。だからこそ、「人づくり」は人しか成し得ない。そして、そこに「人づくり」の醍醐味とやりがいがあるのかもしれない。

学校教育もその一端を担っていることを意気に感じ、日々の教育活動、つまり「人づくり」に努めていきたい。

## 特別展

# 「絵日記でつづった学童集団疎開展」

4月10日(水)～5月26日(日)

第二次世界大戦末期、富山県は学童集団疎開先として約15,000名の児童を受け入れました。その中には東京女子高等師範学校附属国民学校（現お茶の水女子大学附属小学校）の児童124名が含まれていました。その児童が疎開中に毎日書きつづった絵日記、疎開を受け入れた方々との交流の品等を展示しました。

なお、展示した絵日記や写真等のパネル200点は、当時の体験を語り継ぐ団体「平和祈念プロジェクト21」代表の美川季子さんより寄贈を受けたものです。また、交流の品等は、南砺市立中央図書館より借用しました。



### 来館者アンケートより①

10歳前後の子供たちが親元を離れての集団生活はどんなに心細かったであろうかと胸が潰れる思いで見ました…日記の文書もしっかりしていて驚かされます。



### 来館者アンケートより②

平成から令和へ 時代の移り変わりと共に戦争の記憶が薄らいでいくことは必然かも知れません。そうした中で「学童集団疎開」を切り口に展示があることを素晴らしいことだと思います…

## 美川さん 来館、座談会開催 5月8日【水】

美川さんが、現在お住まいの山梨県より来館し、展示の様子をご覧になりました。その後当館会議室において「特別展に何を学び、伝えるか」をテーマに座談会を開催しました。



## 教育記念室に「学童集団疎開」コーナーを新設



「学童集団疎開と富山県」をテーマとした展示コーナーを2階教育記念室に新設しました。寄贈された「展示パネル」や美川さんの「絵日記（複製）」5冊も展示してあります。これらは貸出しも出来ますので、ご利用予定の場合は当館へご連絡ください。

## 第29回 郷土先賢室顕彰者紹介



### 高岡の近代都市としての基礎を築いた政治家

とりやま けいじろう  
鳥山 敬二郎 (1842~1926)

鳥山敬二郎は、鳥山家第29代として天保13年（1842）に現高岡市木町で生まれた。先祖は、群馬県太田市に古くから存在した鳥山城の城主であったが、第15代治右衛門が豊臣氏に仕えた後、前田利家に見いだされ高岡の木町に根を下ろした。

敬二郎は安政5年（1858）、17歳で高岡町奉行役所見習いとなり、文久3年（1863）加賀藩砲術教授役を命ぜられた。翌、元治元年（1864）に京都で禁門の変が起こり、京都御所清和院御門の守衛のために、加賀藩47人の隊長となり活躍した。

明治元年（1868）、高岡にあった貧民小屋を廃止して、加賀藩の福祉政策の一つで金沢卯辰山にあった「撫育所」に収容することに尽力し、翌年には高岡の有志に働きかけ救援米を寄付させ、飢饉に見舞われた約5,000人の命を救った。そして、その奔走ぶりが認められ、明治3年（1870）には高岡総町肝煎役（世話役・支配役・幹旋役）を命じられ町の政治を任せられることとなった。明治4年（1871）には、肥料取引の「豊饒社」を創設し、後に藤井能三（伏木港を築港）や海内果（東京日日新聞の記者）らと高岡米商會所を創設するなど経済界への進出も果たした。

明治5年（1872）、廃藩置県後、明治政府は各地で閑地（空き地）の開発活用を進め、高岡城址（現古城公園）もその候補地となった。当時、高岡が属していた七尾県は落札者を決定し、高岡城址〔水濠を除いた約102,300㎡（31,000坪）〕の払い下げを断行しようとしていた。その払い下げの内容を知った敬二郎は、第十七大区区長であった服部嘉十郎（今の高岡市長に相当）との連名で反対運動を起こし、庶民の世論を味方に公園指定に奔走した。明治7年（1874）7月、公園指定の請願書を新川県（現富山県）に提出。その請願書には、公園としての構想（博物館・美術館・図書館・遊園地を設ける計画書）がすでに描かれていた。請願運動が実を結び、払い下げは取り消され、同8年7月4日、高岡城址は「高岡公園」として正式に認可を受けた。

明治35年（1902）、立憲政友会から推されて衆議院議員に当選し国会議員として活躍した。大正時代に入り、敬二郎は政党の推薦を得て第7代高岡市長となり、中越鉄道（現城端線・氷見線等）の国営化や地区の拡張など高岡の近代化に力を尽くした。

敬二郎は江戸時代幕末から大正時代という国内政治のいくつかの転換期の中、世の為に全力を尽くし近代高岡の礎を築いた。大正15年（1926）、高岡の行く末を案じながらも84歳で静かにその人生の幕を閉じた。

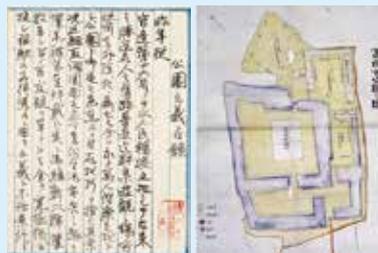
敬二郎らが残した古城公園は「さくらの名所100選」「日本の歴史公園100選」に選定されるなど、自然あふれる水濠公園として市民や観光客から今も親しまれている。

〈専門員 福田 暁〉



第7代高岡市長就任後まもない頃の記念写真  
（旧高岡市役所前）  
大正2年頃

〈鳥山成一氏所蔵〉



〈高岡市立博物館所蔵〉

※高岡公園指定  
請願書(写)  
明治7年  
※高岡公園指定  
請願書附属絵図  
明治後期写



## 黒部川電源開発と宇奈月温泉誕生に貢献した人

やま だ ゆたか  
山田 胖 (1886~1964)

山田胖は、明治19年（1886）、福岡県に生まれた。明治43年（1910）に東京帝国大学工科大学土木工学科を卒業し、逓信省臨時発電水力測量局技師となった。その後山田は、石黒五十二（貴族院議員）の紹介で高峰譲吉と出会い、日米合併のアルミニウム企業設立の計画を知った。これに深く共鳴した山田は、大正6年（1917）7月逓信省を依願免官し、東洋アルミニウム(株)創立事務取扱として同年11月初めに黒部にやってきた。そして、当時人跡未踏の秘境で、技術的にも開発が困難であった黒部川の電源開発の調査に没頭していった。

大正8年（1919）12月、東洋アルミニウム(株)が正式に設立され、大正9年（1920）4月から山田は水力部長を務めた。大正11年（1922）頃からの世界的経済不況や高峰譲吉の死去により、東洋アルミニウムの経営権は日本電力(株)に引き継がれた。大正12年（1923）2月、山田は日本電力(株)に移籍し、黒部川建設所所長として黒部川電源開発の陣頭指揮をとった。同年12月には、黒部川での本格的な電源開発の基になる電力を得るための弥太蔵発電所（1500kw）を完成させた。その電力は、黒部鉄道（現富山地方鉄道：三日市～宇奈月）に工食用電車を走らせ、柳河原発電所建設の動力源になった。また、大正13年（1914）6月頃には、黒部川での水力発電所立地調査の結果をまとめ、大小13か所の候補地と合計で28万1700kwの電力を生む可能性を示した。

宇奈月温泉の開発に対しては日本電力(株)は難色を示した。しかし、「今後長期にわたる困難な電源開発事業を遂行していくためには、<sup>ももはら</sup>桃原（現宇奈月）に職員を定住させる施設や多くの工事人夫を保養する施設が必要である」「黒部鉄道に、より多くの旅客を呼び込むためにも、桃原に新しく引湯して一大温泉地を拓くことが望ましい」と山田は強く主張し、宇奈月温泉開発の方針が決定された。

温泉開発が成功するためには、ひとえに常時熱い湯が引けるかどうかにかかっていた。山田は、大正10年（1921）の冬、愛本温泉に入っている2、3人の男たちの「黒薙の湯元で少し水を加えると、もう少し温かい湯が到着する」という意味の会話を耳にした。その会話が引湯管改良のヒントになり、泉源で水を加えれば流量と流速が増して、到着する湯温は今より高くなると思った。大正11年（1922）2月に調査を実施し、口径4寸の管を使えば、黒薙から桃原に2時間15分で到達し、冬でも約55度の湯が確保できることが分かった。引湯管には保温に適した赤松をくり抜いた約2mの木管を使い、約3500本をつなぎ合わせて引湯工事は竣工した。大正12年（1923）11月末、黒薙で引湯管のバルブが開けられ、暫くして、桃原にある木管の先から熱い湯が湯気を立てて流れ出した。宇奈月温泉の誕生である。山田37歳の時であった。

山田は、昭和元年（1926）12月末日、日本電力(株)を辞任し、黒部川を離れた。山田が黒部川で活躍したのは、大正6年11月から昭和元年末までの9年2か月であった。その後、奥多摩工業(株)等数社の社長を務め、昭和30年代まで活躍した。昭和39年（1964）1月、惜しまれながら逝去。享年77歳であった。

〈専門員 根塚 昌志〉



※樺平付近で測量隊を指揮する山田胖  
〔中央〕  
大正9年

〈『黒部開発の恩人 山田胖翁の功績顕彰録』所収〉



※大正12年から昭和38年まで使用された引湯管  
（現在は合成樹脂管を使用）

〈黒部市歴史民俗資料館所蔵〉

恒例展

## 第10回「児童・生徒によるものづくり展」

6月5日(水)～7月7日(日)



県内には、高岡市のものづくり・デザイン科の取り組みをはじめ、伝統的、創作的な作品の製作に取り組んでいる小・中・高等学校が多くみられます。今年も小・中・高等学校38校から187点の作品が寄せられました。「…地域によってそれぞれの伝統等を大事にしながら子供たちも地域独特の作品を作りあげているんだなど興味深く拝見させていただきました」等の感想が寄せられました。来場者はじっくりと作品を鑑賞し、作品の多彩さに驚いたり、技術の高さに感心したりしていました。

恒例展

## クイズ&パズル 第17回 さんすうワールド展

7月17日(水)～8月25日(日)



夏休み期間中に算数の面白さを味わってもらおうと20のクイズや立体パズル等展示しました。また、二項分布パチンコ教材・楕円ビリヤード等の大型教材（秋山仁先生が中心となり開発・制作）や積木パズル「キューボロ」（プロ棋士の藤井聡太7段が幼い頃に愛用）は好評でした。

「楽しいので、また企画してほしい…」「5問解けて、ファイルをもらえてうれしかった。来年も来たい…」等の感想がありました。

# きらめき未来塾（夏休み期間中）

子供たちの創造力や表現力、柔軟な思考力を養うことをねらいに、今年度も夏休み中に3つの道場を開催しました。

★お笑い道場 講師 安野家 仁楽齋  
(社会人落語家)

落語を通して、ユーモアのセンスや表現力を高めました。最後の回は高志会館での「お笑い大会」でした。



★右脳活用道場 講師 森 みちこ  
(漫画家)

漫画づくりを通して柔軟な発想を形にする表現力を高めました。みんなの作品が一冊の漫画本になるのが楽しみです。



★思考道場 講師 秋山 仁  
(東京理科大学 特任副学長)  
県内講師

杉田 直人 川口 和彦  
前田 正秀 戸谷亜希子  
島 由喜子

ゲーム感覚で数学的な考え方を学び、思考力を高めました。2年ぶりに行われた秋山 仁先生のスペシャル授業は、楽しく算数の面白さを学ぶことができ、大盛況でした。



## 令和元年度「学ぼう！ふるさと未来」支援事業

〈助成対象校1校に10万円助成〉

子供が地域の人や自然、歴史、文化にかかわる「ふるさと学習」等に地域と連携し取り組む学校に助成する事業です。今年度は次の5校が助成校となりました。



30年度 助成校の1校  
【砺波市立出町小学校】  
《伝統文化「出町子供歌舞伎」  
の学びを通して》

支援校	実践テーマ
黒部市立村椿小学校	守ろう、つなげよう！ 自然と命がきらめくふるさと村椿伝えよう！
富山市立芝園小学校	芝園 English マップ - 英語地図で校区の魅力発信 校区の歴史遺産編 -
射水市立作道小学校	ステキがいっぱい ふるさと作道 再発見！ ～豊かな自然を感じよう・身近な環境を守ろう大作戦～
高岡市立中田小学校	地域・保護者・学校が連携して推進するふるさと教育
氷見市立比美乃江小学校	ありがとう 地域の恵 - 地域の特産物・食の恵を通したふるさと学習 - (みりん干し、稲積梅、ハトムギ、寒ブリ)

9月4日(水)～10月6日(日)

小学校での学習や日頃の生活の中から、子供たちの目を通して発見しためずらしい自然界の場面を撮影した写真を90点展示しました。「子供たちの発想と創造力の豊かさに何か忘れていた大切なものを思い出させてくれました…」 「来年はもっと上手にとりたい…」等、参観者からの感想をたくさんいただくことができました。



「水とボール」(1年)



「クラゲはおいしいの？」(2年)



「夏の夜の变身」(3年)



「忍者ザリガニ 隠れ身の術」(4年)



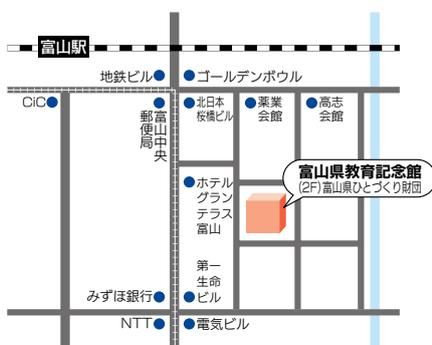
「虹の道」(5年)



「話し相手」(6年)

## これからの展示予定

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| ・ 特別支援学校 みんながんばってます作品展 | 10月25日(金)～11月10日(日) |
| ・ 富山県造形教育作品展           | 11月16日(土)～12月1日(日)  |
| ・ アイデアロボット展            | 12月7日(土)～1月12日(日)   |
| ・ 富山県中学校美術展            | 1月24日(金)～2月9日(日)    |
| ・ 富山県版造形教育作品展・秀作回顧展    | 2月19日(水)～3月22日(日)   |



## あ・と・が・き

新元号「令和」がスタートして半年がたちました。スポーツ界では朝乃山の初優勝！八村塁選手のNBA入り！と富山県出身者の活躍が目立ちます。

また、ラグビー W杯日本大会での日本代表の活躍が、多くの人に勇気と感動、そして夢を与えてくれました。選手たちの「チームの戦略を信じ、仲間を信じ、己を信じる…」などの試合に臨む強い信念は、私たちも手本にしていきたいものです。



会議室を一般の方に**安価**でお貸しして、打合せや趣味の活動などにご利用いただいております。  
詳しくは教育記念館ホームページをご覧ください。  
<http://www.t-hito.or.jp/reserve/index.html>

**会議室をご利用ください！**

